

令和2年度（2020年度）
卓越大学院プログラム プログラムの基本情報 [採択時公表。ただし、項目12、13については非公表]

機関名		機関番号		#N/A				
1.	プログラム名称							
	英語名称							
2.	全体責任者 (学長)	※ 共同申請のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、申請を取りまとめる大学（連合大学院によるもの場合は基幹大学）の学長名に下線を引いてください。						
3.	プログラム責任者	ふりがな 氏名（職名）						
4.	プログラム コーディネーター	ふりがな 氏名（職名）						
5.	設定する領域	最も重視する領域 【必須】						
		関連する領域（1） 【任意】						
		関連する領域（2） 【任意】						
		関連する領域（3） 【任意】						
6.	主要区分	最も関連の深い区分 (大区分)						
		最も関連の深い区分 (中区分)		#N/A				
		最も関連の深い区分 (小区分)		#N/A				
		次に関連の深い区分 (大区分) 【任意】						
		次に関連の深い区分 (中区分) 【任意】		#N/A				
		次に関連の深い区分 (小区分) 【任意】		#N/A				
7.	授与する博士学位分野・名称							
8.	学生の所属する専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)							
9.	連合大学院又は共同教育課程による申請の場合、その別 ※ 該当する場合には○を記入	10. 本プログラムによる学位授与数（年度当たり）の目標 ※ 補助期間最終年度の数字を記入してください。						
	連合大学院		共同教育課程					
11. 連携先機関名（他の大学、民間企業等と連携した取組の場合の機関名）								
12. 補助金申請額と間接経費の合計額（単位：千円）千円未満は切り捨てる ※ 共同申請する取組の場合、「申請金額」欄（ ）内に共同実施機関で使用する金額を記載してください。< >内には申請金額全体に占める割合(%)が表示されます。								
年度（令和/西暦）	2(2020)	3(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	8(2026)	合計
合計額 (千円) (%)	() < >	() < >	() < >	() < >	() < >	() < >	() < >	() < >

[採択時公表]

13. プログラム担当者の構成 計 0 名			
外国人の人数・割合	0 人	#DIV/0! %	女性の人数・割合
			0 人 #DIV/0! %
申請大学・共同実施機関に属する者	0 人	連携先機関に属する者	0 人
そのうち、他大学等を経験したことのある者	0 人	そのうち、大学等以外に属する者	0 人

14. プログラム担当者一覧								※「年齢」は公表しません。
番号	氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	リポート 予定 (割合)
1	(プログラム責任者)							
2	(プログラムコーディネーター)							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

(機関名： フリガナ名称：)

14. プログラム担当者一覧（続き）

氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	ワーク 予定 (割合)
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							

令和2年度（2020年度）
卓越大学院プログラム 計画調書

[採択時公表]

(1) プログラムの全体像【1 ページ以内】

（申請するプログラムの全体像を1 ページ以内で記入してください。その際、令和2年度（2020年度）「卓越大学院プログラム」審査要項にある評価項目の「卓越性」、「構想の実現可能性」、「継続性及び発展性」、「大学院改革事業としての意義」が明確になるように記入してください。）

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

(2) プログラムの内容【4ページ以内】

(プログラムの目的や養成する人材像、それに対する申請大学の大学院教育の現状と課題、本事業に取り組むべき必要性を具体的に示してください。その上で、プログラムを構築・展開するカリキュラム及び修了要件等の具体的な取組内容について、教育内容の体系性にも留意した上で説明してください。また、人材育成上の課題を明確にした上で、その課題解決に向け検証可能かつ明確な目標を、プログラムの目的にふさわしい水準で設定し記入してください。)

※プログラムの内容が分かるようにまとめたポンチ絵(1ページ以内)を別途添付してください。(文字数や行数を考慮する必要はありません。)

(3) 大学院全体のシステム改革【2ページ以内】

(申請大学全体として大学院全体のシステムをどのように改革するのかについて、本事業による取組はどのような位置づけで、どのような役割を果たすのか、取組のどのような要素を大学院全体に波及させるのかという観点から、現状と課題を踏まえた上で、具体的に記入してください。)

また、本年度に本事業に申請している他のプログラム、本事業に既に採択されたプログラム、博士課程教育リーディングプログラムの採択プログラムがある場合には、貴学における大学院全体のシステム改革構想の観点から、これらのプログラム及び本申請について、それぞれの役割、位置付けを明確に説明してください。特に、本事業に既に採択されたプログラムについては、既採択プログラムの構想の中で示した大学院システム改革の取組状況を記入するとともに、大学院システム改革と本事業による取組の関係を明確にしてください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

(4) プログラムの特色、卓越性【2ページ以内】

(申請するプログラムの特色、卓越性に関して記入してください。その際、様式 1「5. 設定する領域」において選択した「最も重視する領域」を踏まえ、①学術活動の水準、②これを前提とした教育プログラムが、国際的な観点から見て卓越性を有していることを必ず記載し、明確に説明してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

(5) 学長を中心とした責任あるマネジメント体制【2ページ以内】

(学長の考える現状の大学院システムの課題と、学長のリーダーシップの下でそれに対してどのように取り組むか、また、学長を中心として構築される責任あるマネジメント体制を確保するための取組、大学全体の中長期的な改革構想の中での当該申請の戦略的な位置づけ、高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する仕組みの継続性の担保と発展性の見込みについて、大学としてどのように構想しているか、記入してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

(6) 学位プログラムの継続、発展のための多様な学内外の資源の確保・活用方策【1ページ以内】
(学位プログラムの継続、発展のための学内外資源に関し、①確保のための方策、②活用の方策について大学としてどのように構想しているか、様式5-1、様式5-2との関連及び具体的な算出根拠を示しつつ、記入してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

(7) 大学院教育研究に係る既存プログラムとの違い【1 ページ以内】

<プログラム担当者が、大学院教育研究にかかる既存のプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は該当なしと記載。>

(現在国の教育・研究資金により継続実施中である大学院教育研究に係るプログラム(卓越大学院プログラム、博士課程教育リーディングプログラム、その他研究支援プロジェクト等)に、当該申請のプログラム担当者が関わっている場合(プログラム責任者として複数プログラムに関与している場合を除く)、当該プログラム及び関与しているプログラム担当者の氏名を明記の上、プログラムの内容、対象となる学生、経費の使用目的等、本プログラムとの違いを明確に説明してください。

博士課程教育リーディングプログラムについては、国の補助期間が終了している場合についても、継続されているプログラムと本プログラムとの違いを上記にならない記述してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

(8) 調書の概要資料【10ページ以内】

(調書の概要として、面接審査ヒアリング実施要領2.(3)を参照の上、同項の「特にアピールしたい点」の資料を添付してください。審査要項にある評価項目も踏まえた取組内容を具体的に記載するほか、教育課程の概念図など教育内容の体系や概要についての説明を含めてください。

その際、必ず調書の該当ページを示してください。調書に記載のない内容を本項において新たに盛り込んでも、審査の対象とはなりません。

なお、面接審査の対象となった場合、ヒアリング時に使用する説明資料は本資料から変更してかまいません。)

令和2年度（2020年度）
 卓越大学院プログラム 教育研究実績・環境等に関する基礎データ

(1) 学位プログラムに関連する専攻の現状

①関連専攻の入学定員等

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位分野・名称
						外国人	社会人	自大学の同一分野出身者		
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								
		H30								
		H29								
		H28								

H30年度博士課程修了者（満期退学者を除く）の合計
 ※（4）進路の現状「博士課程修了者（満期退学者を除く）」の「合計」と一致させてください。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

③関連専攻の教員組織

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の令和元年（2019年）5月1日現在の教員組織について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください

大学名：

研究科・専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-
上記のうち外国人教員											
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			-		-		-		-		-

※関連専攻が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

備考

(2) 経済的支援の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程において、平成30年度(2018年度)に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。各欄にはそれぞれの人数を実数で記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：

研究科・専攻名	課程区分	合計	在籍学生数	経済的支援を受ける者	TAとして採用されている者	RAとして採用されている者	フェローシップ・奨学金	うち	その他	授業料免除適用者数
								日本学術振興会特別研究員採用者		
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
課程区分ごとの在籍学生数 合計		合計								
※(5) 学生の研究活動の状況 ①の在籍者数との整合性に注意 してください。		合計								

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

(4) 進路の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等における平成30年度(2018年度)修了者の進路状況(令和元年(2019年)5月1日現在)について、データを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：

区 分	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者	
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人
	※(1)①「H30年度博士課程修了者(満期退学者を除く)の合計」と一致させてください。			
修了者数・満期退学者数				
① 進学者数				
② 就職者数				
② の 内 訳	大学の教員(助教・講師等)			
	公的な研究機関			
	その他公的機関			
	企業(研究開発部門)			
	企業(その他の職種)			
	ポスドク(同一大学)			
	ポスドク(他大学等)			
	学校の教員(大学を除く)			
その他				
③ 専修学校・外国の学校等入学者				
④ 一時的な仕事に就いた者				
⑤ 死亡・不詳				
⑥ ①～⑤のいずれにも該当しない者				

備考

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先

※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

「⑤ 死亡・不詳」欄の事情、理由

※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

「⑥ ①～⑤のいずれにも該当しない者」欄に記載の具体的な内訳

(5) 学生の研究活動の状況

以下の①～③は「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：

①博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1：平成30年度(30年(2018年)4月～31年(2019年)3月の期間)について作成してください。

注2：学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

注3：論文発表数は、専攻に所属する学生がレフェリー付学術雑誌に代表又はファーストオーサーとして(印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く。)発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の()内には、うち外国語で作成した論文数を記入してください。

注4：(2) 経済的支援の現状の課程区分ごとの在籍者数合計との整合性に注意してください。

課程区分	在籍者数	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付き論文発表数	在籍者に対する割合
		回(回)	回/人(回/人)	件(件)	件/人(件/人)
		回(回)	回/人(回/人)	件(件)	件/人(件/人)
		回(回)	回/人(回/人)	件(件)	件/人(件/人)
		回(回)	回/人(回/人)	件(件)	件/人(件/人)

備考

②博士課程学生の主な発表論文

(平成28～30年度(28年(2016年)4月～31年(2019年)3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

③研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成28～30年度(28年(2016年)4月～31年(2019年)3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

(6) 申請大学の教育研究実績・環境等（特に国際的な実績）

※単に採択実績を示すだけではなく、大学がどのような教育研究上の国際競争力を持つかや、過去の事業等が大学の努力によりどのように補助期間終了後も継続され本申請に生かされているか、という観点で記載してください。共同申請を行う場合には、大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：

①教育活動の実績（申請大学の特筆すべき教育実績等）

②研究活動の実績（申請大学の特筆すべき研究実績等）

③産官学等連携の実績（申請大学の特筆すべき連携実績等）

(7) 連携先機関の教育研究実績・環境等

※連携先機関の教育研究実績・環境等をどのように本申請に活用するかという観点で記載してください。

①教育活動の実績（連携先機関の特筆すべき教育実績等）

--

②研究活動の実績（連携先機関の特筆すべき研究実績等）

--

③産官学等連携の実績（連携先機関の特筆すべき連携実績等）

--

② 「博士課程教育リーディングプログラム」における取組の継続状況

②「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されており、かつ、補助期間が終了しているプログラムがある場合には、①に加えて、同事業の補助期間終了後における取組の継続状況を1プログラムにつき1ページ以内で記入してください。大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）にページを複製して作成してください。

※入学者数・在籍者数・プログラム担当教員数は令和元年度の実数を記入するとともに、（）内に補助期間の最終年度の実数を記入して下さい。

大学名：

プログラム名	補助期間 終了年度 (最終年度)	令和元年度の状況（最終年度の状況）		
		入学者数	在籍者数	プログラム 担当教員数
		()	()	()
継続状況の説明				
事業内容の最終年度からの主な変更点 (実施運営の体制など)				

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位 (取得大学)	現在の専門
1	(プログラム責任者)		()	
役割分担				
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください</u> 。卓越大学院プログラムの他のプログラム担当者（既に採択されたものや他大学のものも含む）を兼任する場合は、関係するプログラム全ての業務の遂行に支障がないことを記入してください。			
職歴				
教育研究 実績・資源 (特に国際 的な実績)	<p>◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等）</p> <p>◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等）</p> <p>◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等）</p>			
主な発表 論文・著書 (2件以内)	印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則5年以内）に発表したものについて、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後のページ・発表年（西暦）を記入するとともに、これらの業績を確認できる URL を記入（HP 名称等ではなく、URL を必ず記入すること）			
エフオー ト予定	本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ 割			

(機関名：

プログラム名称：

)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位 (取得大学)	現在の専門
2	(プログラムコーディネーター)		()	
役割分担				
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u>			
職歴				
教育研究 実績・資源 (特に国際 的な実績)	<p>◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等）</p> <p>◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等）</p> <p>◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等）</p>			
主な発表 論文・著書 (2件以内)	印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則5年以内に）発表したものについて、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後のページ・発表年（西暦）を記入するとともに、これらの業績を確認できる URL を記入（HP 名称等ではなく、URL を必ず記入すること）			
エフオー ト予定	本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ 割			

(機関名：

プログラム名称：

)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位 (取得大学)	現在の専門
3			()	
役割分担				
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください</u> 。卓越大学院プログラムの他のプログラム担当者（既に採択されたものや他大学のものも含む）を兼任する場合は、兼任の理由と見込まれる効果について記入してください。			
職歴				
教育研究 実績・資源 (特に国際 的な実績)	<p>◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等）</p> <p>◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等）</p> <p>◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等）</p>			
主な発表 論文・著書 (2件以内)	印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則5年以内）に発表したものについて、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後のページ・発表年（西暦）を記入するとともに、これらの業績を確認できる URL を記入（HP 名称等ではなく、URL を必ず記入すること）			
エフオー ト予定	本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ 割			

(機関名：

プログラム名称：

)

令和2年度(2020年度)
卓越大学院プログラム 資金計画表

単位：千円

事業年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
補助金申請額(直接経費)							
間接経費	0	0	0	0	0	0	0
学内外資源	0	0	0	0	0	0	0
うち学内資源							
うち学外資源							
(参考)学内外資源の主な用途と財源							
計	0	0	0	0	0	0	0
学内外資源の対補助金比率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
補助金申請額と間接経費の合計額	0	0	0	0	0	0	0

・網掛け部分は自動計算のため、数値を入力しないでください。

(機関名:

プログラム名称:

)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和2年度（2020年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。
- ・令和2年度（2020年度）は令和2年（2020年）10月～令和3年（2021年）3月の6か月分の必要経費を申請してください。〔 記載例：研究打合せ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<令和2年度（2020年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(令和2年度（2020年度）) 合計	0	0	
		0	

（機関名：

プログラム名称：

）

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和3年度（2021年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打合せ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<令和3年度（2021年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(令和3年度（2021年度）) 合計	0	0	
		0	

(機関名：

プログラム名称：

)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和5年度（2023年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打合せ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<令和5年度（2023年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(令和5年度（2023年度）) 合計	0	0	
		0	

(機関名：

プログラム名称：

)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和7年度（2025年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打合せ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<令和7年度（2025年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(令和7年度（2025年度）) 合計	0	0	
		0	

(機関名：

プログラム名称：

)

令和2年度（2020年度）卓越大学院プログラム

申請資格の確認

大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）にページを複製して作成してください。

大学名	
-----	--

○申請資格の確認について

下表 i) ~ ix) のいずれかに該当する大学は、本事業に申請できず、共同申請の構成大学や連携先機関になることもできません。

i) ~ ix) について、各確認欄に「該当しない」を記入してください。

また、v)、vi) に関連することとして、表 1 及び表 2 をそれぞれ記入してください。

	番号	確認項目	確認欄
組織 運 営 関 係	i)	学生募集停止中の大学	
	ii)	学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	
	iii)	公募要領4. (2) iii) に掲げる表において、上段の区分の令和2年度のものを含む直近の修業年限期間中、連続して下段の収容定員充足率を満たしていない大学	
	iv)	「私立大学等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	
	v)	令和元年度に実施した再推費における事業の事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学 (対象事業は表1のとおり。)	
	vi)	令和元年度に実施した再推費における事業の中間評価で、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学 (対象事業は表2のとおり。)	
設 置 関 係	vii)	設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	
	viii)	大学、大学院、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	
	ix)	公募要領4. (2) ix) に掲げる基準を満たしていない学部を設置している大学	

「表 1」「表 2」で示す対象事業において、評価の実施されたプログラムの有無を記入してください。当該事業に申請大学として参加している場合は「実施有無」に「有」、連携校として参加している場合や事業自体を実施していない場合は「実施有無」に「無」と記入してください。

実施「有」とした場合は、実施件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

表 1：令和元年度に実施した事後評価の結果、申請できない条件の対象となる事業

事業名	実施有無	実施件数	評価の実施されたプログラム名※1	事後評価結果
博士課程教育リーディングプログラム（平成 25 年度採択）				
大学の世界展開力強化事業（ロシア、インド等との大学間交流形成支援）（平成 26 年度採択）				
課題解決型高度医療人材養成プログラム（医師・歯科医師を対象とした人材養成）（平成 26 年度採択）				
課題解決型高度医療人材養成プログラム（看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成）（平成 26 年度採択）				
未来価値創造人材育成プログラム（科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成）（平成 30 年度採択）				

表 2：令和元年度に実施した中間評価の結果、申請できない条件の対象となる事業

事業名	実施有無	実施件数	評価の実施されたプログラム名※1	中間評価結果
大学の世界展開力強化事業（ロシア、インド等との大学間交流形成支援）（平成 29 年度採択）				
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）（平成 29 年度採択）				
課題解決型高度医療人材養成プログラム（病院経営支援に関する領域）（平成 29 年度採択）				
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（平成 29 年度採択）				
基礎研究医養成活性化プログラム（平成 29 年度採択）				

※1 各事業において使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、プログラム名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。